SONY

4-207-071-**02**(1)

* 4 2 0 7 0 7 1 0 2 * (1)

スピーカー付リモートコマンダー

取扱説明書

RM-PSZ30TV

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよく お読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

©2010 Sony Corporation Printed in China

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ず守りてください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」をよくお読みください。

定期的に点検する

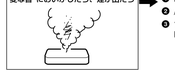
1 年に 1 度は、AC パワーアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、AC パワーアダプターが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。



警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号		行為を指示する記号
火災	感電	指示

行為を禁止する記号

禁止	接触禁止	ぬれ手禁止

⚠警告 **下記の注意を守らないと、火災・感電により大けがの原因となります。**

火災 感電

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、AC パワーアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

この製品を海外で使用しない

AC パワーアダプターは、日本国内専用です。
交流 100V の電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

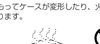
指定以外の AC パワーアダプターを使わない

破裂・液漏れや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

⚠注意 **下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

ぬれた手で AC パワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。



大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。

通電中の AC パワーアダプターに長時間ふれない

長時間皮膚が ふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本体や AC パワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

長時間使用しないときは AC パワーアダプターを抜く

長時間使用しないときは、安全のため AC パワーアダプターをコンセントから抜いてください。

お手入れの際、AC パワーアダプターを抜く

AC パワーアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

乾電池
単 3 形アルカリ、単 3 形マンガン

⚠危険 **電池が液漏れしたとき**

電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

- 小さい電池は飲みこむ恐れがあるので、乳幼児やペットの手の届くところに置かない。万が一飲みこんだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて +と − を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。ショートさせない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- もし電池の液が漏れたときは、リモコンの電池入れの液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。
  万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

AC パワーアダプター使用上のご注意

- AC パワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- AC パワーアダプターを本機や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険をさけるために、AC パワーアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、AC パワーアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

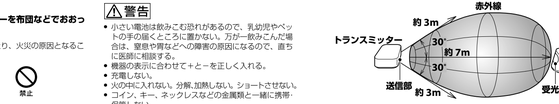
使用例

リビングで・・・
大勢のときも、お好みの音量で楽しめます

ベッドサイドで・・・
まわりを気にせず、深夜番組を楽しめます

音声の届く範囲について

トランスミッターからの音声用赤外線の届く範囲は、おおよそ下図のとおりです。



ご注意

- このシステムは赤外線を使用しているため、上図の範囲内であってもトランスミッターから離れるにしたがって、雑音が増えます。また、赤外線がさえぎられた場合は音声がとぎれたり、雑音が入ることがあります。これらの現象は赤外線の特性によるもので、故障ではありません。
- リモコンの赤外線受光部とトランスミッターの間に赤外線信号をさえぎるものを置かないでください。
- リモコンの発光部をトランスミッターに向けて置いてください。リモコンをお使いになる位置が図の範囲内であれば本機のスピーカーから音声を聞くことができます。
- トランスミッターの位置やお使いになる場所の状況により聞こえかたが異なります。なるべく聞こえやすい位置でお使いになることをおすすめします。
- トランスミッターの赤外線発光部の明るさにムラがある場合がありますが、赤外線の届く範囲などの性能には影響ありません。

リモコンのオートスタンバイ機能について

トランスミッターからの音声信号が無くなると「スピーカー電源ランプ」が赤く点灯し待ち受け状態になります。
再びトランスミッターから音声信号を受信すると「スピーカー電源ランプ」が緑色に点灯し、音声を出力します。
スピーカーをご使用にならないときは電池の消耗を防ぐために電源をお切りください。

1. 付属品を確かめる

箱から出したら、付属品がそろっているか確認してください。

- リモコン
- トランスミッター
- リモコン用 AC パワーアダプター AC-E455D
- トランスミッター用 AC パワーアダプター AC-S906T
- 接続ケーブル
- 取扱説明書（本書）
- 保証書

2. リモコンの電源を準備する

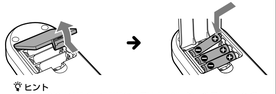
使いかた 1
AC パワーアダプターを使う場合

ご注意

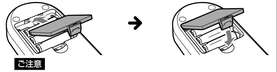
この製品には、付属の AC パワーアダプター AC-E455D（極性統一形プラグ・JEITA 規格）をご使用ください。上記以外の AC パワーアダプターを使用すると、故障の原因になります。

使いかた 2
乾電池（別売り）を使う場合

単 3 形乾電池 3 本を、⊖ 極側から入れる。
電池持続時間：約 30 時間（単 3 アルカリ乾電池使用時、音声出力 5mW 時）



ヒント
電池ぶたははずれにくい構造になっていますが、はずれてしまった場合にはイラストのように奥に押し込んでからふたを閉じてください。



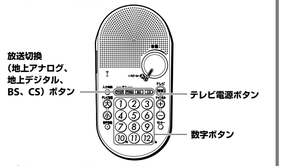
ご注意

電池を入れる方向を間違えると、お買い上げ時の設定（ソニー製品用）に戻ってしまうことがあります。
電池の交換は 20 分以内に行ってください。電池を取り出したまま 20 分以上たつと、お買い上げ時の設定（ソニー製品用）に戻ってしまうことがあります。
お使いのテレビの操作ができなくなってしまったときは、もう 1 度「3. メーカー設定をする」の手順をやり直してください。

3. メーカー設定をする

■ **ソニー製テレビの場合：**
お買い上げ時の設定で操作できます。「4. トランスミッターを準備する」に進んでください。
一部の機能を操作できなかった場合は、メーカー設定をしてください。

■ **他社製テレビの場合：**
必ずメーカー設定をしてください。



1 「メーカー番号一覧表」から、設定するメーカー番号を探す。

同じメーカーでメーカー番号が複数ある場合は、一覧表の左の番号から順に試す。

2 テレビ電源ボタンを押しながら、数字ボタンを順に押してメーカー番号を入力する。

例：パナソニック（松下）のデジタルチューナー内蔵テレビ

数字の「0」を入力するには、数字ボタン 10 を押す。
電源ボタンから指を離すと、ピーという確認音が鳴り、設定が完了します。

3 テレビに向けてテレビ電源ボタンを数回押して、電源の入／切ができるか確認する。

■ **正しく動作しない場合：**
手順 **1** からやり直す。
同じメーカーでメーカー番号が複数ある場合は、別の番号を試す。

■ **正しく動作する場合：**
テレビの電源を入れて手順 **4** に進む。

4 放送切換（地上アナログ、地上デジタル、BS、CS）ボタンを押して放送を切り換える。

5 色々なボタンを押して、操作できるか確認する。

■ **正しく動作しない場合：**
手順 **1** からやり直す。
同じメーカーでメーカー番号が複数ある場合は、別の番号を試す。

■ **反応しないボタンがある場合：**
機器によっては、一部のボタンが反応しない場合があります。
同じメーカーでメーカー番号が複数ある場合は、手順 **1** に戻り、別の番号でメーカー設定をしてより多くのボタンが反応する設定がないかどうか試してください。

■ **正しく動作する場合：**
設定したメーカー番号をメモする。（メーカー番号：　　）

メーカー番号一覧表

デジタルチューナー内蔵テレビ
（地上デジタル・BS デジタル・110 度 CS デジタルチューナー内蔵）

メーカー	メーカー番号
ソニー	211（お買い上げ時の設定）、312
パナソニック（松下）	411、313
東芝	316、321、314、315
日立	412、317
三菱	213、223、212
ビクター（JVC）	216、214
サンヨー	218、217
シャープ	413、220、225、319、318、414、224
パイオニア	221、219、320

ご注意

- 「メーカー番号一覧表」にあるテレビでも、年代・機種によっては操作できない場合や、一部の機能を操作できない場合があります。
- 以下の機器のすべての操作には、対応していません。
  – コンピューター用モニター（テレビチューナー内蔵型を含む）
  – スカパー！（スカイパーフェクト TV!）チューナー内蔵テレビ
  – DVD や HDD などを搭載した複合機器
  – プロジェクター

アナログチューナー内蔵テレビ*
（地上アナログ・アナログ BS チューナー内蔵）
* テレビ画面右上に「アナログ」と表示される場合は、アナログ放送です。

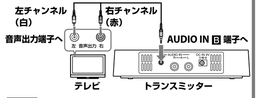
メーカー	メーカー番号
ソニー	110、112、113、114、115、514
パナソニック／ナショナル（松下）	116、117、118、517
東芝	119
日立	120、121、122、522、123
三菱	123、124、125、116、523
ビクター（JVC）	126、127、128、524
サンヨー	129、130、131、132、526
アイワ	133、110、527、528、529、112、113、114、115、514
シャープ	134、135、530
フナイ / PRECIOUS	136、137、138、531、532、533
NEC	139、140、119
富士通	141、142
パイオニア	143
フィリップス	144
上記以外のメーカー	145、146、147、148、149、150、151、152、153、534、535、536、537

4. トランスミッターを準備する

1 トランスミッターとテレビをつなぐ。

使いかたによって 2 種類のつなぎかたがあります。お使いになる方法にあわせてトランスミッターとテレビをつないでください。

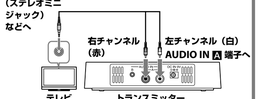
使いかた 1
テレビと本機のスピーカーの両方で聞く場合



ご注意

- 音声出力端子の名称は、メーカーによる異なる場合があります（たとえば、ビデオ出力端子やモニター出力端子など）。お持ちのテレビの端子については、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。（音声出力端子は多くのテレビで背面に配置されています。）
- テレビの音声出力端子によっては、テレビの音は出力するが、テレビに接続したビデオデッキなどの音は出力しない場合があります。この場合は、別の音声出力端子につなぐか、ヘッドホン端子への接続を試してください。

使いかた 2
本機のスピーカーのみで聞く場合
（テレビのスピーカーから音は出なくなります。）

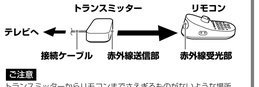


ご注意

- ヘッドホン端子などについてどときは、テレビを適当な音量にし、本機の音量つまみ／スピーカー電源スイッチで音量を調節してください。
- ヘッドホン端子の配置や形状は、テレビにより異なります。お持ちのテレビのヘッドホン端子については、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

2 トランスミッターを設置する。

リモコンをお使いになる方向に向けてトランスミッターを設置してください。



ご注意

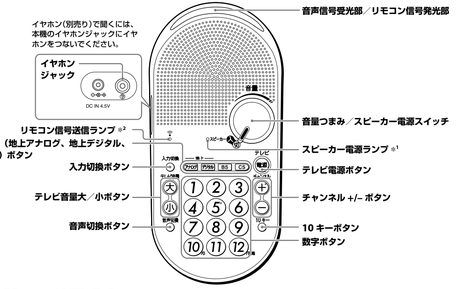
トランスミッターからリモコンまでさえぎるものがないような場所に設置してください。
障害物があると音声が聞こえない、聞こえづらくなる原因になります。

3 トランスミッターを電源につなぐ。

ご注意

この製品には、付属の AC パワーアダプター AC-S906T（極性統一形プラグ・JEITA 規格）をご使用ください。上記以外の AC パワーアダプターを使用すると、故障の原因になります。

5. 操作する



*1 緑色点灯：トランスミッターからの音声信号を受信中
赤色点灯：トランスミッターからの音声信号が受信できない
*2 リモコン信号を送信中に赤色に点灯します。

ちょっと一言
- 数字ボタン5、音声切換ボタン、チャンネル+ボタンには、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。
- テレビの電源を切ったらスピーカーの電源も切ってください。ACパワーアダプターを接続していない時、リモコンは待ち受け状態でも乾電池を消費します。

1 スピーカーから音を出す

- **音量つまみ／スピーカー電源スイッチを右に回してスピーカーの電源を入れる。**
- **リモコンの音声信号受光部をトランスミッターに向ける。**
- **トランスミッターからの音声信号を受信するとスピーカー電源ランプが緑色に点灯します。**

2 リモコンをテレビに向けて操作する

基本的な使いかたは、お使いのテレビに付属のリモコンと同じです。

したいこと	操作
テレビの電源を入れる／切る	テレビ電源ボタンを押す。
見たいチャンネルを選ぶ	数字ボタンを押す。
	お好みのチャンネルに切り替わるまで、チャンネル +/– ボタンを繰り返し押す。
テレビの音量を調節する	テレビ音量大／小ボタンを押す。
リモコンスピーカーの音量を調節する	音量つまみ／スピーカー電源スイッチを左右に回す。スピーカー電源を切るには「カチッ」と音がするまで左いっぱいに回す。

したいこと	操作
主音声と副音声を切り換える	音声切換ボタンを押す。
放送を切り換える	放送切換ボタンを押す。
入力を切り換える	表示したい入力画面に切り替わるまで、入力切換ボタンを繰り返し押す。
	表示したい入力画面に切り替わるまで、+/– ボタンを繰り返し押す。
3 桁のチャンネル番号入力モードにする（デジタルチューナー内蔵テレビのみ）	10 キーボタンを押す。

ご注意
- 本機にボタンがあっても、お使いのテレビにない機能は使えません。
- テレビの機種によっては、一部の機能が操作できない場合があります。
- 本機は、EPG（番組表）やテープ放送操作には対応していません。

ちょっと一言
- 上記の操作で入力を切り換える以外に、入力切換ボタンと数字ボタンを使って、表示したい入力画面に直接切り換えることもできます。
  詳しくは、「表示したい入力画面に直接切り換える」をご覧ください。
- デジタルチューナー内蔵テレビや、アナログ BS チューナー内蔵テレビのチャンネルの切り換えなどが、お使いのテレビに付属のリモコンと同じように操作できないときは、他の方法を試せます。
- 乾電池でご使用の場合は音量つまみ／スピーカー電源スイッチでこまめにスピーカー電源を切ることをおすすめします。

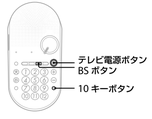
表示したい入力画面に直接切り換える

入力切換ボタンを押しながら、数字ボタンを押す。

数字ボタン	入力
1	ビデオ 1（LINE-1）
2	ビデオ 2（LINE-2）
3	ビデオ 3（LINE-3）
4	ビデオ 4（LINE-4）
5	コンポーネント入力切換
6	AV マルチ入力切換
7	コンポーネント入力 1
8	コンポーネント入力 2
9	コンポーネント入力 3
10	HDMI 入力切換
11	テレビ（TV）

ご注意
テレビの機種によっては、上記の手順で直接切り換えられない場合があります。

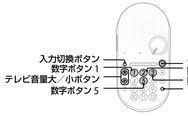
BS デコーダー（アナログ WOWOW）を操作する



したいこと	操作
電源を入れる／切る	BS ボタンを押しながら、テレビ電源ボタンを押す。
音声を選択する	BS ボタンを押しながら、10 キーボタンを押す。

ちょっと一言
上記の操作をすると、ピピピッという操作音が鳴ります。

本機の設定を変更する



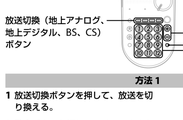
したいこと	操作
操作音を消す	テレビ電源ボタンを押しながら、音量小ボタンを押す。 **再び操作音が鳴るようにするには** テレビ電源ボタンを押しながら、音量大ボタンを押す。
特定の操作ボタン *1 を無効にする／再び有効にする	テレビ音量小ボタンを押しながら、テレビ電源ボタンと無効（または有効）にしたい操作ボタンを同時に押す。*2
お買い上げ時の設定に戻す	10 キーボタンを押しながら、数字ボタン 5 とテレビ電源ボタンを同時に押す。*2

*1 テレビ電源ボタンと音量大／小ボタンを除きます。
*2 設定が完了すると、ピーという確認音が鳴ります。

ちょっと一言
- 使わないボタンや、誤って押さないようにしたいボタンを、無効にしておくと便利です。
- 無効にしたボタンは、メーカー設定やり直すと、有効になります。
- 操作音が鳴るように設定している場合も、無効にしたボタンは操作音が鳴りません。

地上デジタル・BS デジタル・110 度 CS デジタルチャンネルへ切り換えられないときは

地上デジタル・BS デジタル・110 度 CS デジタルチャンネルへの切り換えかたは、テレビの機種によって異なります。
お使いのテレビに付属のリモコンと同じ操作で切り換えられないときは、以下のいずれかの方法で操作してください。



方法 1

1 放送切換ボタンを押して、放送を切り換える。

2 数字ボタンを押して、チャンネルを選ぶ。

方法 2

1 放送切換ボタンを押して、放送を切り換える。

2 チャンネル +/– ボタンを押して、チャンネルを選ぶ。

方法 3

1 放送切換ボタンを押して、放送を切り換える。

2 10 キーボタンを押して、チャンネル番号入力モードにする。

3 数字ボタンを押して、3 桁のチャンネル番号を入力する。
チャンネル番号で「0」を入力するには、数字ボタン 10 を押す。

方法 4

1 見たい放送に切り替わるまで、BS ボタンを繰り返し押す。

2 数字ボタンを押して、チャンネルを選ぶ。

方法 5

1 見たい放送に切り替わるまで、BS ボタンを繰り返し押す。

2 チャンネル +/– ボタンを押して、チャンネルを選ぶ。

方法 6

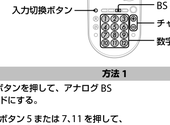
1 見たい放送に切り替わるまで、BS ボタンを繰り返し押す。

2 10 キーボタンを押して、チャンネル番号入力モードにする。

3 数字ボタンを押して、3 桁のチャンネル番号を入力する。
チャンネル番号で「0」を入力するには、数字ボタン 10 を押す。

アナログ BS チャンネルへ切り換えられないときは

アナログ BS チャンネルへの切り換えかたは、テレビの機種によって異なります。
お使いのテレビに付属のリモコンと同じ操作で切り換えられないときは、以下のいずれかの方法で操作してください。



方法 1

1 BS ボタンを押して、アナログ BS モードにする。

2 数字ボタン 5 または 7、11 を押して、チャンネルを選ぶ。

方法 2

BS ボタンを押しながら、数字ボタン 5 または 7、11 を押して、チャンネルを選ぶ。

方法 3

お好みのチャンネルに切り替わるまで、チャンネル +/– ボタンを繰り返し押す。

方法 4

1 アナログ BS モードに切り替わるまで、入力切換ボタンを繰り返し押す。

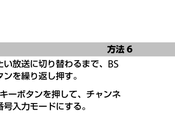
2 お好みのチャンネルに切り替わるまで、チャンネル +/– ボタンを繰り返し押す。

方法 5

BS ボタンを押しながら、お好みのチャンネルに切り替わるまで、チャンネル +/– ボタンを繰り返し押す。

アナログ BS モードで音声を切り換えられないときは

アナログ BS モードで、音声切換ボタンを押しても主音声と副音声を切り換えられないときは、以下の方法で操作してください。



BS ボタンを押しながら、音声切換ボタンを押す。

故障かな？と思ったら

本機が正しく動作しないときは、下記の項目をチェックしてください。
それでも正しく動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

メーカー設定

症状	原因 / 処置
メーカー設定ができない（メーカー設定が完了しても、ピーという確認音が鳴らない）	電池が消耗している。 → 新しい電池に交換してください。
	メーカー番号を入力するとき、4 個のボタン（電源ボタンと 3 個の数字ボタン）を同時に押した。 → 電源ボタンは押したまま離さずに、数字ボタンを 1 つずつ順に押してください。
メーカー設定をしたのにテレビを操作できない	正しくメーカー設定されていない。 → メーカー設定をやり直してください。 詳しくは、「3. メーカー設定をする」をご覧ください。 同じメーカーでメーカー番号が複数ある場合は、他の番号を試してください。また、デジタルチューナー内蔵テレビと、アナログチューナー内蔵テレビの、両方の番号を試してください。
	電池の交換に 20 分以上かかり、お買い上げ時の設定（ソニー製品用の設定）に戻ってしまった。 → メーカー設定をやり直してください。 詳しくは、「3. メーカー設定をする」をご覧ください。
	「メーカー番号一覧表」にあるテレビでも、年代・機種によっては操作できない場合や、一部の機能を操作できない場合があります。

その他

症状	原因 / 処置
音が小さい、または音が出ない	スピーカー電源ランプが消えている。 → 音量つまみ／スピーカー電源スイッチを時計回しに回してスピーカー電源ランプを点灯させてください。
	スピーカー電源ランプが赤色に点灯している。 → リモコン受光部の前に障害物がないか確認してください。 → 表面の「4. トランスミッターを準備する」をご覧になって接続コードまたは AC パワーアダプターが正しく接続できているか確認してください。
	音量つまみ／スピーカー電源スイッチが最小に絞られている。 → 音量つまみ／スピーカー電源スイッチを調節してください。
	正しく接続されていない。 → 表面の「4. トランスミッターを準備する」をご覧になって接続コード、または AC パワーアダプターが正しく接続できているか確認してください。
	テレビの音量が小さすぎる。 → テレビの音量を上げてください。
	トランスミッターからの赤外線信号がさえぎられている。 → このシステムは赤外線を使用しているため、赤外線がさえぎられた場合は音声がとぎれたり、雑音が入ることがあります。これらの現象は赤外線の特性によるもので、故障ではありません。
音がひずむ	テレビの音量が大きすぎる。 → テレビの音量を下げてください。
	スピーカー電源ランプが暗い、または消灯している。 → AC パワーアダプターを接続してください。または、新しい電池と交換してください。
雑音が多い	トランスミッターから離れすぎてリモコンを使用している。 → トランスミッターから離れるにつれて雑音が多くなります。 この現象は赤外線の特性によるもので、故障ではありません。
	スピーカー電源ランプが暗い、または消灯している。 → AC パワーアダプターを接続してください。または、新しい電池と交換してください。
	トランスミッターとリモコンの間に障害物がある。 → リモコン受光部の前に障害物がないか確認してください。
	直射日光の入る窓際で使っている。 → カーテンやブラインドを閉めて直射日光が当たらない場所でお使いください。
	トランスミッターからの音声信号がリモコンに届いていない。 → トランスミッターの位置や角度を変えてください。リモコンの音声信号受光部をトランスミッターに向けてください。
	スピーカー電源ランプが暗い、または消灯している。 → AC パワーアダプターを接続してください。または、新しい電池と交換してください。
	プラズマテレビの前で使用している。 → トランスミッターをリモコンに向けて設置してください。リモコンの音声信号受光部をトランスミッターに向けてください。それでも雑音が聞こえる場合はプラズマテレビからリモコンを 2m 以上離してお使いください。
リモコンのボタンを押したときにスピーカーからの音が途切れたり、ノイズが出る	同時に 2 台以上のトランスミッターを使っている。 → すでに別のトランスミッターをお持ちのときは、他のトランスミッターの電源を切るか、赤外線の届かない所へ移動させてください。
	トランスミッターから離れすぎてリモコンを使用している。 → 7 m 以内の距離でリモコンを使ってください。ただし、テレビの音量などによっては、音が途切れたり、ノイズが出る場合があります。
	スピーカー電源ランプが暗い、または消灯している。 → AC パワーアダプターを接続してください。または、新しい電池と交換してください。
	トランスミッターからの音声信号がリモコンに届いていない。 → トランスミッターの位置や角度を変えてください。 リモコンの音声信号受光部をトランスミッターに向けてください。
リモコンで操作できない	電池が消耗している。 → 新しい電池に交換してください。
	リモコンからの信号がテレビに届いていない。 → 7 m 以内で使用し、テレビのリモコン受光部の前に障害物がないかご確認ください。
テレビに近づかないと動作しない	電池が消耗している。 → 新しい電池に交換してください。

症状	原因 / 処置
一部の機能を操作できない	お使いのテレビに適したメーカー番号を設定していない。 → 他のメーカー番号に設定し直せば、操作できるようになることがあります。デジタルチューナー内蔵テレビと、アナログチューナー内蔵テレビの、両方の番号を試してください。 詳しくは、「3. メーカー設定をする」をご覧ください。
	特定の操作ボタンが無効になっている。 → 無効になっているボタンを有効にしてください。 詳しくは、「4 機の設定を変更する」をご覧ください。
	本機にボタンがあっても、お使いのテレビにない機能は使えません。
	テレビの年代・機種によっては、一部の機能を操作できない場合があります。
電源は入れられるがテレビ画面にならない	ビデオなどの外部入力画面になっている。 → テレビ画面に切り替わるまで、入力切換ボタン、またはチャンネル +/– ボタンを繰り返し押してください。それでも切り替わらない場合は、入力切換ボタンを押しながら、数字ボタン 11 を押してください。
電源ボタンを押しても、テレビの電源が入らない	テレビ本体の電源が入っていない。 → テレビ本体の電源を入れてください。
ボタンを押すと、ピッピッと音が続けて出る	電池が消耗している。 → 新しい電池に交換してください。

主な仕様

トランスミッター（TMR-IF30M）

電源	DC 9 V（付属の AC パワーアダプターを使用）
入力	ステレオミニジャック またはピンジャック × 2
外形寸法	140 × 29 × 75 mm（幅×高さ×奥行き）
質量	約 112 g

リモートコマンダー（RM-PSZ30）

動作距離	約 7 m *（正面距離）
電源	DC 4.5 V（付属の AC パワーアダプターを使用または単 3 形乾電池 3 本）
電池持続時間	約 30 時間（単 3 形アルカリ乾電池使用時、音声出力 5 mW 時）
外形寸法	約 91 × 68 × 193 mm（幅×高さ×奥行き）
質量	約 305 g
付属品	トランスミッター用 AC パワーアダプター AC-S906T、リモートコマンダー用 AC パワーアダプター AC-E455D、取扱説明書（本書）、保証書、接続ケーブル（1m、ステレオミニプラグ×ピンプラグ× 2）

* 使用機器のメーカー・機種によっては距離が変わる場合があります。

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも異合が悪いときは
ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に相談ください。ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
- 型名：RM-PSZ30TV
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買上げ年月日：

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保存期間について
当社ではリモートコマンダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 6 年間保有しています。

よくあるお問い合わせ、至に使い時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

お入り前は安心
フリーダイヤル……0120-333-020
携帯電話・PHS：一部のIP電話・0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル……0120-222-330
携帯電話・PHS：一部のIP電話・0466-31-2531
※取扱説明書（リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通）0120-333-389

お記事等へ接続後、最初のガイダンスが流れる時に、**「999」+「#」**を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1